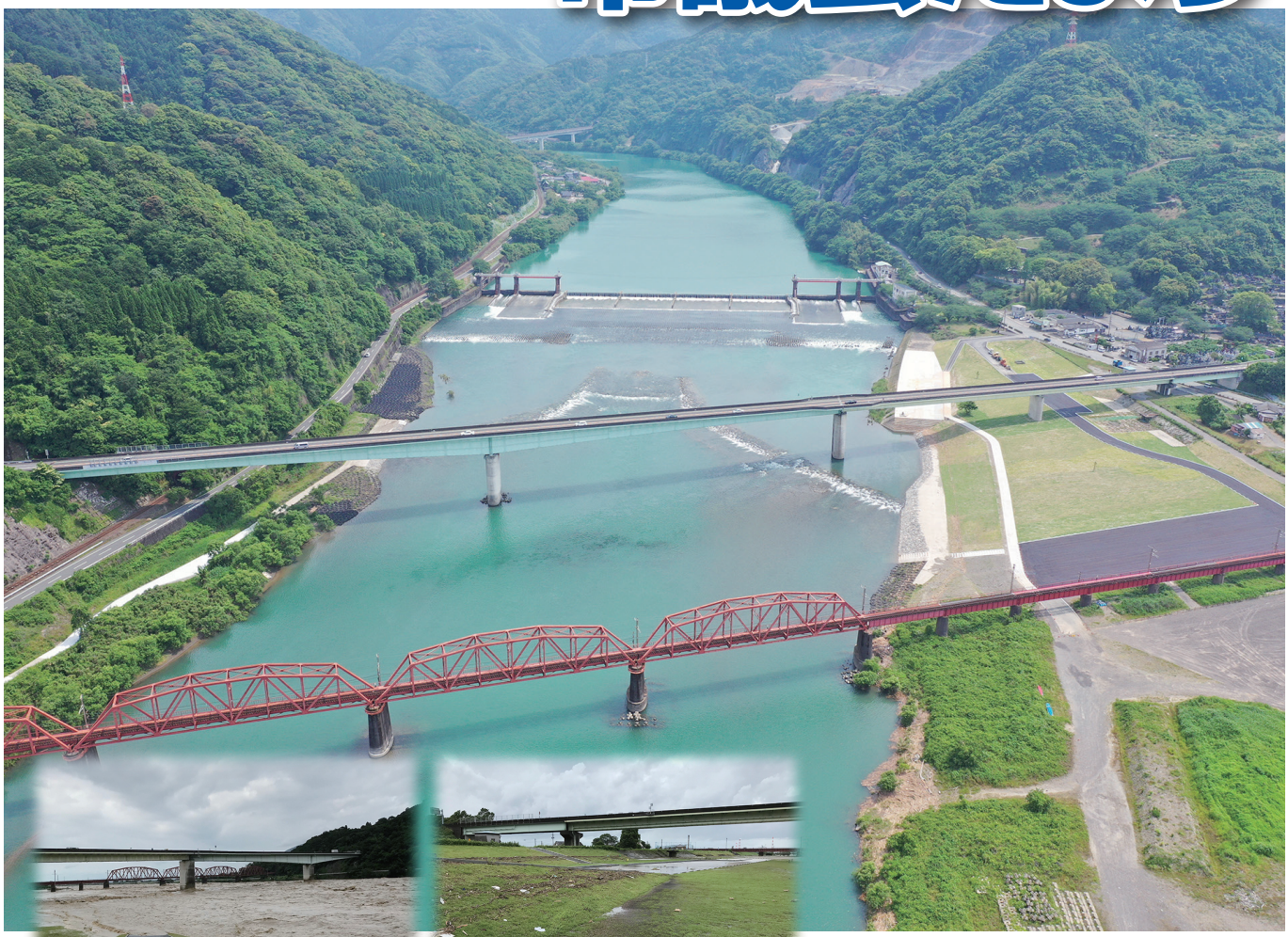
やつしろ 市議会だより

第60号
令和2年
8月1日発行

令和２年６月定例会



▲上空から見た八の字堰（写真中央）
撮影：国土交通省 八代河川国道事務所
〈令和２年５月 27 日撮影〉

▲令和２年７月豪雨により被災した「遙拝八の字広場」
〈令和２年７月４日～６日　上流側から撮影〉

令和２年６月定例会会期日程

６月　１日㈪	本会議／開会
６月　９日㈫ ～ 10日㈬	本会議／質疑・一般質問
11日㈭	経済企業委員会 文教福祉委員会
12日㈮	建設環境委員会 総務委員会
17日㈬	本会議／討論・採決

目 次

● 4月臨時会 …… 2
● 6月定例会 …… 3
● 質疑・一般質問 …… 5
● 委員長報告 …… 8
● 採決結果 …… 10
● 特集記事 …… 11
● 編集後記 …… 12

編集・文責／八代市議会広報委員会

YATSUSHIROSHI

4月臨時会

GIKAI

去る４月２８日の１日間、臨時会が開かれ、市長から議案５件が上程されました。

今回の臨時会は、新型コロナウイルス感染症対策に関し、本市独自の施策に伴う補正予算及び専決処分の報告及びその承認について審査され、それぞれ全会一致で原案のとおり可決、承認されました。

予算　一般会計補正予算　3億5,020万円　可決

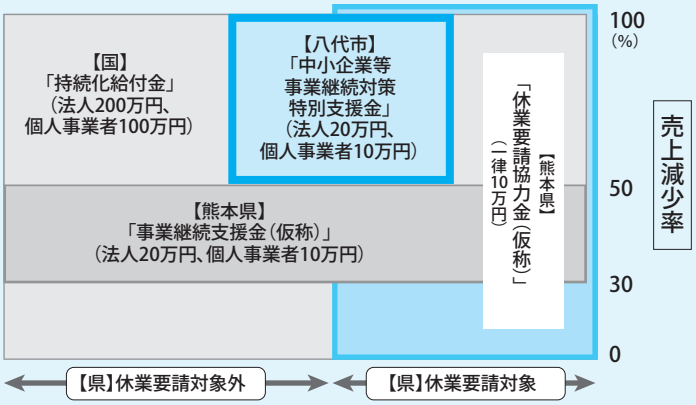
（主なものを抜粋して掲載）

八代市中小企業等事業継続対策特別支援事業　３億２，５００万円

２月末以降、国からの新型コロナウイルス感染防止対策のための活動自粛要請の影響により、売上が50％以上減少した小売業・卸売業・宿泊業及び飲食店などの事業者に対し、事業の継続・安定を図るため、本市独自の「事業継続対策特別支援金」を支給する経費について補正するもの。

八代市中小企業等事業継続対策特別支援金		：	３億２，５００ 万円
・法　人	２０万円×1,150件	＝	２億３，０００ 万円
・個人事業者	１０万円×　950件	＝	９，５００ 万円

「八代市中小企業等事業継続対策特別支援金」のイメージ



新型コロナウイルス感染対策事業(防災対策)　１４０万４，０００円

各避難所における感染防止対策として、消毒液及び非接触体温計を購入する経費について補正するもの。

・消毒液及び非接触体温計
（避難所110カ所分）

新型コロナウイルス感染症対策事業　（生活交通確保維持）　１，８００万円

八代市内と阿蘇くまもと空港及び免許センターを結ぶ唯一の直結型路線である「すーぱーばんぺいゆ」は、国土交通大臣の認定を受けている本市の「地域公共交通再編実施計画」の中に位置づけられている路線バスである。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が大幅に減少しており、路線を維持することが困難な状況となっている。そのため、市民の皆様の暮らしを守る施策として、継続的な運行ができるよう、運営の一部支援を臨時的に行う経費について補正するもの。

YATSUSHIROSHI

6月定例会

GIKAI

６月定例会は、６月１日から 17 日まで開催され、条例議案９件、予算議案３件、その他 11 件を審議しました。
主な議案は次のとおりです。（主なものを抜粋して掲載）

予算

令和２年度一般会計補正予算総額
27億2,960万円（追加補正：13億5,860万円を含む）

可決

◎子育て世帯への臨時特別給付金事業　１億７，４００万円

《国の１位次補正》
　新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため、児童手当を受給する世帯に対し、対象児童一人当たり１万円の「臨時特別給付金」を支給する経費について補正するもの。

◎パソコン教育推進事業　３億９，８４９万２，０００円

　国のGIGAスクール構想を実現するため、国の補助金を活用し、ネットワーク環境整備に必要な経費を補正するもの。
(小・中学校３９校、特別支援学校１校分)

◎いぐさ・畳表生産体制強化緊急対策事業　８，７５５万１，０００円

　県の補助金を活用し、機械化による作業の省力化や製品の品質向上、いぐさ産地の生産体制の強化と産地の維持を図る取組に必要な機械・機器のリース導入に要する経費及び施設整備に要する経費の一部を補助するもの。
《事業主体》いぐさ移植機管理組合
《事業内容》いぐさ移植機の導入
　移植機 22台、苗処理機 27台、カセット 2,405台

条例改正など

可決

◎八代市介護保険条例の一部改正について

　新型コロナウイルス感染症の影響により一定程度収入が下がった介護保険第１号被保険者の介護保険料の減免に対する財政支援が決定されたことを踏まえ、当該減免措置に関し所要の規定を定めるもの。

◎八代市国民健康保険条例の一部改正について

　新型コロナウイルス感染症に感染するなどした一定の要件を満たす国民健康保険の被保険者である被用者に対して傷病手当金を支給するにあたり、所要の規定を定めるもの。

《対 象 者》　被用者で、療養のため労務に服することができないもの（新型コロナウイルス感染症に感染した場合または発熱等の症状があり感染が疑われる場合に限る）
《支給期間》　労務に服することができなくなった日から起算して３日を経過した日（最長１年６月間）
《支 給 額》　直近３月間の給与収入の合計額を就労日数で除した金額×２/３×日数
　※給与収入の全部または一部を受ける者に対しては、別計算方法を適用

令和２年度 一般会計追加補正予算 １３億５，８６０万円

可決

令和２年６月10日の質疑・一般質問最終日に市長より、「新型コロナウイルス感染症対策」関連事業等にかかる追加補正予算が提案されました。

「新型コロナウイルス感染症対策」関連事業　１３億５，０００万円
（内　地方創生臨時交付金：８億２，６２８万９，０００円）

（主なものを抜粋して掲載）

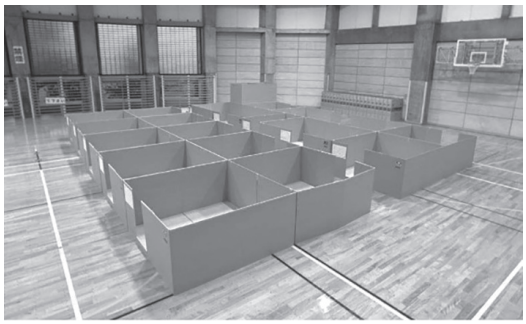
◎感染防止に関する支援策　５，２３４万円

■防災対策　１，７８８万３，０００円
・避難所に段ボール間仕切り等を購入する経費

■新型コロナウイルス感染症対策事業　１，０４０万円
・介護保険所、障がい者施設等に配備する非接触型温計購入費（507施設に2本以上配備）

■学校施設等感染防止策　８３９万６，０００円
・学校施設等における消毒液等の感染対策経費

など



（イメージ）

◎子育てと学びの支援策　９億８５０８万円

■小・中・支援学校端末整備　６億５，８７６万８，０００円
・GIGAスクール構想実現のための端末整備
（小・中・支援学校　合計７，８２５台）

■ひとり親世帯への臨時特別給付金事業
１億５，９９５万６，０００円
・新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得のひとり親世帯への臨時特別給付金

■新型コロナウイルス感染症対策事業
（保育所等）　５，７２２万２，０００円
・保育所従事者への応援給付金
・当該感染症の影響により、収入が減少した保護者に対して行う学用品費等の援助
（給食費・就学援助　小・中学校）　４，２１０万８，０００円
・当該感染症の影響により、収入が減少した保護者に対して行う給食費及び学用品費等の援助

など

◎地域経済の回復と活性化の支援策　２億３，２８１万円
◎安心できるくらしを維持するための支援策　７，９７７万円

■新型コロナウイルス感染症対策事業（予防対策支援）　９，０００万円
・サービスの提供を受ける人が、密集・長期滞在する店舗等において、感染予防対策を行う費用の一部補助

■新型コロナウイルス感染症対策事業（農林漁業者等事業継続対策特別支援金）　３，３００万円
・国からの活動自粛要請等の影響により、売上が減少した農林漁業者へ、事業の継続を図るための支援金（法人：２０万円　個人事業者：１０万円）

など

質疑 一般質問

議案に対する質疑と市政の各般にわたる一般質問は、６月９日から１０日までの２日間、８人が通告・登壇し、幅広い活発な議論が展開されました。
主な質問のあらましと答弁の要旨は、次のとおりです。

令和２年６月定例会　質疑・一般質問一覧（通告順）	
北園 武広　議員 （自由民主党 礎）	1 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた本市の ICT 教育について 2 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う本市のスポーツ振興について 3 新型コロナウイルス感染症対策に伴う本市の経済振興について
野﨑 伸也　議員 （改革・市民の会）	1 小中学校等における臨時休業（休校）の対応について 2 学校再開に向けての取組と今後の対応について 3 新型コロナウイルス感染症対策としてのＧＩＧＡスクール構想整備事業について 4 学童保育未利用分の返金に対する本市の考えについて 5 八代中体連開催中止を再考することについて 6 本市の新型コロナウイルス感染症対策支援事業等のさらなる拡充について 7 長期戦を見据えた備蓄品整備と避難所運営について
太田 広則　議員 （公明党）	1 本市の特別定額給付金事業の状況について 2 新型コロナウイルス感染症対策に伴う本市独自の金融支援策について 3 新しい生活様式における避難所の対応について
西濵 和博　議員 （新風）	1 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた災害時の新たな避難の在り方（分散避難）及び課題について 2 感染症対策等を含めた医療分野における本市組織の機能強化及び医療の技術革新に対する政策的なアプローチについて 3 総務省所管令和２年度「関係人口創出・拡大事業」モデル事業採択団体となった本市の取組と将来への展望について
福嶋 安徳　議員 （自由民主党 礎）	1 イ業振興について
橋本 徳一郎 議員 （日本共産党）	1 新型コロナウイルス感染症に対する本市の医療的対策について 2 新型コロナウイルス感染症の影響下における学校再開について
大倉 裕一　議員 （改革・市民の会）	1 新型コロナウイルス感染症への対応について 2 政府から配布されるマスクについて 3 本市の公園管理について
中村 和美　議員 （自由民主党 和）	1 新型コロナウイルス感染症対策へのふるさと納税の活用について

北園　武広

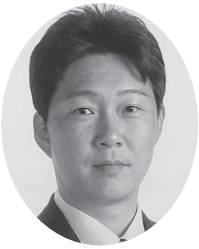
◆新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた本市のICT教育について

問　本市における端末機の整備状況は六・四人に一台で、国の水準は三人に一台となっている。

今般の新型コロナウイルス感染症拡大を避けるために、学校は臨時休校策をとられた。そこで学業の遅れや、児童生徒の充実した学びを保証し、格差の発生防止に繋げるためにも、国の水準を目標に、整備を進める必要があると考える。国の補助・交付金といった財政措置もなされているので、本市の児童生徒にも、一人一台の端末機の早急な整備が出来ないものか伺う。

答　**市長**

本市でも新型コロナウイルス感染症拡大を避けるため、長期間、学校が臨時休校となった。その間、学校では学びの遅れや格差発生の防止に努めたと聞いているが、今回のような緊急時においても、全ての子どもたちに、きちんと学べる環境を確保することが絶対に必要であるとの思いを強く持った。端末をはじめ関連機器整備には市の財政負担も発生するが、国の特例的財政支援を最大限に活用し、予想される第二・第三波への備えとして、また子どもたちの教育環境を飛躍的に充実させるためにも、児童生徒への端末一人一台整備を、年内に実現させることを決断した。



野﨑　伸也

◆八代中体連開催中止を再考することについて

問　五月二十八日、八代中体連が中止と通知された。部活動を続けてきた子ども達の目標が中止となり、子ども達の気持ちを考えた場合、どうしても納得いかないものがある。そこで開催中止の判断経緯を伺う。また、全国では独自代替え大会を開催する動きがあり、九州では宮崎県、佐賀県が開催を表明している。そこで、部活動に一生懸命取り組んできた子ども達のため、八代中体連に代わる大会を教育委員会が主体となって開催できないかを伺う。

答　**教育長**

八代地区の総合体育大会の開催中止は、主催者である八代中体連で判断がなされた。八代の地区大会だけでも開催できないかと検討されたが、生徒・保護者、そのご家族・指導者・教職員の命と安全を守ることが重要であると考え、「八代大会の中止」という苦渋の決断がなされたと伺っている。

大会中止を決断された状況、現在の学校・子供たちが置かれた状況を総合的に考えて、八代地区の総合体育大会に代わる大会等を教育委員会が実施することは困難であると判断している。

太田　広則

◆本市の特別定額給付金事業の状況について

問　当初、生活支援臨時給付金制度による給付が考えられていた。しかし、本制度は、難解だったことから、公明党代表が一人につき十万円を給付するという、分かりやすい制度を導入し、給付を急ぐべきであると、直接総理に要望し、特別定額給付金制度が実現したものと考える。実現は多くの賛同を呼ぶとともに実情は、早期の給付を多くの方が待ち望んでおられる。そこで、給付は急ぐべきと考えるが、申請から給付に至るまでの取り組みと、最新の給付実績を伺う。

答　**総務企画部長**

緊急経済対策の閣議決定後、特別定額給付金事業推進室を設置し、システム整備やコールセンター開設を行った。オンライン申請は五月一日から、郵送申請は五月八日から受付を開始した。申請書の発送準備や審査は土・日・祝日も行い、最大時には四十人超の体制で業務を実施した。また、ゆめタウン八代とイオン八代の協力の下、五月十二日から二十二日までドライブスルー方式による申請書の受取を行った。六月八日現在、対象世帯の九十五パーセントを超える約五万四千四百件の申請があり、累計で三万八千七十九件、八十六億五千三百七十万円の振込みを行っている。

西濵　和博

◆感染症対策等を含めた医療分野における本市組織の機能強化及び医療の技術革新に対する政策的なアプローチについて

問　がんは、長らく日本人の死亡原因の一位を占め、熊本県では年間約一万二千人が新規のがんと診断されている。生涯で、がんに罹患する確率は男性が約六十二％、女性は約四十七％であるが、早期に発見できれば生存率が著しく向上する。本年一月、福岡県の全面的なバックアップにより、早期発見につながる新たな検査システム「尿一滴と線虫のがん検査」が実用化した。そこで、この検査機能の本市への開設に向け政策的なアプローチを望むが執行部の見解を伺う。

答　**健康福祉部長**

現在、尿一滴と線虫のがん検査の他、血液や唾液による検査等、早期発見のためのさまざまな検査方法が研究され、実用化に至っているものもある。これらの新たな検査方法により、がんを早期発見することができれば、早期治療につながることが期待できる。本市としても、がん検診の受診率向上に努めるとともに、がん対策の推進に向けて、国の動向等も注視しながら、新たながん検査の方法に取り組まれている自治体や先進医療機関等の情報収集に努めていく。

福嶋　安徳

◆イ業振興について

問　い草「ひのみどり」は、平成十三年六月、種苗法に基づく育成品種として熊本県が登録を行い、現在も高級畳表として取引される八代の財産である。しかし、種苗法に基づく品種登録期間が令和三年六月二十六日に満了となることから、以後、中国での栽培が可能となる。平成十年以降、中国産畳表の輸入が増大した時と同様に再度国産畳表の価格が暴落するのではないかと危惧している。今後このような事態にならないよう中国での栽培を制限する方法がないかを伺う。

答　**農林水産部長**

種苗法に基づく品種登録の存続期間満了後は、育成者権が消滅し、海外で「ひのみどり」が栽培された場合、種苗法及び関税法に基づく輸入差し止めができなくなる。育成者である熊本県では、中国でイグサの品種登録を行い、育成者権が保護されるよう、中国政府への働きかけについて、国に対し、要望活動が行われている。本市でも氷川町、ＪＡやつしろと共に、熊本県と同様の要望を国へ行っている。産地側の取り組みとしては、海外で「ひのみどり」が栽培されないよう、産地から苗を流出させないことが肝要であり、関係団体と協力して生産者への周知徹底に努める。

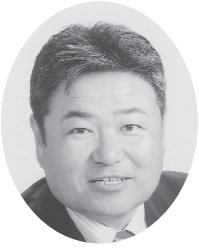
橋本 徳一郎

◆新型コロナウイルス感染症の影響下における学校再開について

問　本ウイルスの影響により、本市公立学校は、夏休みが短縮されている。長期の休校後、児童生徒の心身に配慮が必要と思うことから、各校の養護教諭体制および関連機関との連携について問う。また、学校方針等の決定については、教員同士の協議の場を設けていただきたい。本年度のカリキュラムで児童生徒が主体的に取り組める行事・授業実施について問う。さらに、給食の安全性、提供側の調理場の熱中症対策と労働環境整備について問う。

答　**教育部長**

今年度は夏季休業を十五日間、冬季休業を一日それぞれ短縮し基本となる授業日数を確保した。学校再開に伴い、養護教諭の役割は大きいと考えるが、各学校では学校全体で感染症対策に取り組むとともに、学校医や学校薬剤師に相談するなど、日頃から連携して保健管理体制を整えている。学校行事については、その教育的意義や児童生徒の心情等にも配慮し、実施の方法を具体的に検討していく。また、主体的な学びにも配慮して児童生徒の学びの保障に努める。学校給食では、安全性に細心の注意を払っており、調理員の熱中症対策と労働環境の改善にも取り組んでいる。



大倉　裕一

◆新型コロナウイルス感染症への対応について

問 新型コロナウイルスの影響を受け、景気は下落し、リーマンショック直後を超える下げ幅となり、経済指標は軒並み過去最大の落ち込みとなった。このことは、本市の景気にも影響をもたらし、市民生活にも影響が出ている。県内市町村の景気支援策が公表されるたび、本市の取り組み状況を不安視される声を聞いている。そこで、これまでの対応と今後の支援策の方針を伺う。また、今後の財政運営に影響を及ぼさないようにとの執行部の発言について内容を伺う。

答 **財務部長**

これまでの新型コロナウイルス感染症対策は、数度の補正予算の編成により機を逸することなく、その時々に必要となる対策を的確に講じてきたところであり、財源や施策面について国や県の動向も注視しながら、感染防止対策と社会経済活動を維持するための事業継続対策の両立について早急に対応してきた。また、今後の財政運営については、将来を見据え、市の財政への影響も十分念頭に置き、健全性を損なうことがないよう財政調整基金等の運用にも慎重に取り組んで行かなければならないと考える。

中村　和美

◆新型コロナウイルス感染症対策へのふるさと納税の活用について

問 教育・商工・農林水産分野における本市の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策については、国の支援はあるものの、市の財政的負担は過大である。そこで、多くの方から、八代への想いと八代市民の幸せを願い寄せられているふるさと納税の一部を、市独自の施策として子育て世帯に支給できないものか伺う。

答 **財務部長・健康福祉部長**

ふるさと納税の一部を積み立てた「ふるさと八代元気づくり応援基金」は、地域活性化の制度であることも再認識し、寄附者にも喜んでいただけるよう利活用していきたい。新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に関する市独自の給付としては、国の臨時交付金を活用し、感染症の影響で収入が減少した子育て世帯に、保育園等に係る教材費の助成を行いたい。この基金を活用した市独自の子育て世帯に対する支援策は現在のところないものの、感染症の影響は長期に及ぶと予想されるため、今後も基金を活用した市独自の給付を含め、様々な支援を検討していく。

委員長報告

経済企業委員会

付託されました予算案二件については次のとおりです。

- **議案第五十一号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第五号（関係分）**
- **議案第六十三号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第六号（関係分）**

の二件については、慎重に審査した結果、全会一致で、可決しました。

文教福祉委員会

付託されました予算案三件、条例案七件及び事件議案一件については次のとおりです。

- **議案第五十一号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第五号（関係分）**
- **議案第五十二号・令和二年度八代市国民健康保険特別会計補正予算・第二号**
- **議案第五十六号・八代市介護保険条例の一部改正について**
- **議案第五十七号・八代市介護保険条例の一部改正について**

・議案第五十八号・八代市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び八代市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
・議案第五十九号・八代市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
・議案第六十号・八代市国民健康保険条例の一部改正について
・議案第六十一号・八代市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について
・議案第六十二号・八代市立図書館条例の一部改正について
・議案第六十三号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第六号（関係分）

の十件については、慎重に審査した結果、全会一致で、可決しました。

次に、

・議案第五十四号・令和二年度八代市国民健康保険特別会計補正予算・第一号に係る専決処分の報告及びその承認について

慎重に審査した結果、全会一致で、承認しました。

建設環境委員会

付託されました予算案二件については次のとおりです。

・議案第五十一号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第五号（関係分）
・議案第六十三号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第六号（関係分）

の二件については、慎重に審査した結果、全会一致で、可決しました。

総務委員会

付託されました予算案二件、条例案一件及び事件議案一件については次のとおりです。

・議案第五十一号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第五号（関係分）
・議案第五十五号・八代市定住支度金条例の廃止について
・議案第六十三号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第六号（関係分）

の三件については、慎重に審査した結果、全会一致で、可決しました。

次に、

・議案第五十三号・令和二年度八代市一般会計補正予算・第四号に係る専決処分の報告及びその承認について

慎重に審査した結果、全会一致で、承認しました。

第１委員会室

第２委員会室

マスク着用による委員会審査の様子

令和２年４月臨時会採決結果

〔全会一致で可決した議案〕

議案番号	議　　案　　名
議案第 46 号	令和２年度八代市一般会計補正予算（第３号）
議案第 47 号	専決処分の報告及びその承認について（八代市市税条例等の一部を改正する条例）
議案第 48 号	専決処分の報告及びその承認について（八代市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）
議案第 49 号	専決処分の報告及びその承認について（八代市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例）
議案第 50 号	専決処分の報告及びその承認について（令和元年度八代市一般会計補正予算（第１４号））

令和２年６月定例会採決結果

〔全会一致で可決した議案〕

議案番号	議　　案　　名
議案第 51 号	令和２年度八代市一般会計補正予算（第５号）
議案第 52 号	令和２年度八代市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）
議案第 53 号	専決処分の報告及びその承認について（令和２年度八代市一般会計補正予算（第４号））
議案第 54 号	専決処分の報告及びその承認について（令和２年度八代市国民健康保険特別会計補正予算（第１号））
議案第 55 号	八代市定住支度金条例の廃止について
議案第 56 号	八代市介護保険条例の一部改正について
議案第 57 号	八代市介護保険条例の一部改正について
議案第 58 号	八代市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び八代市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
議案第 59 号	八代市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
議案第 60 号	八代市国民健康保険条例の一部改正について
議案第 61 号	八代市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について
議案第 62 号	八代市立図書館条例の一部改正について
議案第 63 号	令和２年度八代市一般会計補正予算（第６号）
議案第 64 号	八代市長及び副市長の給料の減額に関する条例の制定について
議案第 65 号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第 66 号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第 67 号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第 68 号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第 69 号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第 70 号	固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて
議案第 71 号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
議案第 72 号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
議案第 73 号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

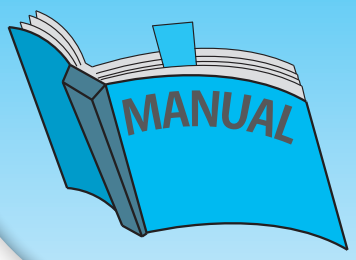
八代市議会

新型コロナウイルス感染症対策における「3本の矢」

新型コロナウイルス感染症は世界中に拡大し、県内においても複数の自治体で感染例が報告されております。市民の皆さまには連日にわたる予防対策に努めていただき、また、医療従事者の皆さまをはじめ、最前線で活動され私たちの生命及び暮らしを支えていただいている皆さまに改めて感謝申し上げます。

八代市議会といたしましては、現在の状況を踏まえ、主に 3 つの対策に取り組みましたのでお知らせいたします。今後も市当局と連携を密にしながら、感染拡大防止を含めた感染症対策に取り組んでまいります。

対策マニュアルの策定



八代市議会議員や議会事務局を対象とした、新型コロナウイルス感染者または濃厚接触者発生時の対応を定めた対策マニュアルを策定しました。

今後も八代市議会としてリスクマネジメントを推進し、感染防止等に取り組んでまいります。

対策会議の設置

感染防止等の円滑な実施について、市感染症対策本部と協力し、連携した対応を行うことを目的に「新型コロナウイルス感染症等に対する八代市議会対策会議」を設置しました。

今後も市感染症対策本部と両輪で感染防止等に取り組んでまいります。

減額補正予算

新型コロナウイルス感染症対策における市の財源確保を目的に、令和2年度当初予算に計上されていた八代市議会議員全28人分の管外行政視察費の減額を市へ要望しました。

この減額は6月定例会において審議され、減額の補正予算として承認されました。

減額された費用は、今後、市の介護保険関連の感染防止対策等に活用される見込みです。

全国市議会議長会

永年勤続議員表彰

令和2年度 全国市議会議長会第96回定期総会（今年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面議決にて実施）において永年勤続表彰が行われ、本市議会では6人の議員が表彰を受け、6月定例会において表彰状が伝達されました。

議員名（勤続年数）

後列左より、**西濵和博**議員（10年以上）、**野﨑伸也**議員（10年以上）、**前川祥子**議員（10年以上）

前列左より、**村上光則**議員（20年以上）、**橋本幸一**議員（20年以上）、**鈴木田幸一**議員（15年以上）

編集後記

この度の「令和2年7月豪雨」により、甚大な被害を受けられた市民の皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたします。

さらに、市内全域においては、コロナ禍で御苦労されている日々が続いていることと推察いたします。

そこで、八代市議会におきましては、「令和2年7月豪雨」災害への対応として、7月4日に「八代市議会災害対策会議」を設置し、被災地域に寄り添いながら早期の復旧・復興に向けて執行部と一丸となり取り組んでまいります。併せて、新型コロナウイルス感染症対策としては、市民の皆様からいただいた御意見をもとに、様々な補助メニューを市執行部と共に検討し、市民の皆様が様々な施策により、少しでも安心して過ごしていただけるよう今後も努力してまいります。

今後、晩秋にかけては、台風を含む災害の多い時期となっております。避難所運営も新しい生活様式を取り入れ、感染症対策に万全の態勢で臨む必要があります。

今後も市民の皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

八代市議会広報委員会

◎本紙に関する御意見・御要望はこちらまで　☞TEL 32-5984・FAX 33-4440
市役所ホームページアドレス　http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/